

恋人の聖地観光交流大賞 南紀白浜・三段壁が受賞

「恋人の聖地」認定事業などを行うNPO法人「恋人の聖地」は5月31日、「第3回恋人の聖地観光交流大賞2017」授賞式を東京都港区の結婚式場、青山セントゲレース大聖堂で開き、

「南紀白浜・三段壁（和歌山県白浜町）」を大賞に選んだ。

授賞式では白浜観光協会の沼田久博会長が登壇し、同センター理事で華道家の假屋崎吾吾さんから賞状を受け取った。同センター理事でファッショ

恋人の聖地観光協会 定時総会を開催

白浜町の取り組みで「殺の名所」という負のイメージを払拭するため、

2016年4月に恋人の聖地となり、デートスポットとして認知度を高めつつある点が評価された。選ばれた9地域・団体は次の通り。

（佐賀県玄海町）▽観光交流賞Ⅱ釜石大観音（岩手県釜石市）、鏡ヶ浦から富士の見えるまち館山（千葉県館山市）、ローズガーデンクライスト協会（北海道札幌市）、名古屋ヘリコプター遊覧飛行（愛知県豊山町）、八幡山ロープウェイ（滋賀県近江八幡市）、皿倉山山頂・皿倉山の夜景（福岡県北九州市）

恋人の聖地観光協会 定時総会を開催

恋人の聖地観光協会（会長、金丸謙一・千葉県館山市市長、230会員）は5月31日、「第2回恋人の聖地観光協会（協議会）定時総会」を東京都港区の結婚式場、青山セントゲレース大聖堂で開いた。金丸会長は「写真Ⅱは「各地域の恋人の聖地が連携を強化し、情報共有を進めることで、観光振興を図ろう」とあいさつした。

「シオンを紹介した。コーディネートを務めたJTBグループ本社観光立国推進マネージャーの山下真輝氏は「旧来型の観光地では、地域の都合が優先されがちだが、各地の恋人の聖地では顧客志向が徹底されているようだ。また企業会員が行っているSNS活用などの創意工夫は、予算ありきの行政の方々にはとても参考になるのではないかと最後にコメントした。



授賞式で撮影に応じる関係者（左からIMARUさん、沼田会長、假屋崎さん、桂さん）



志垣理事長は「恋人の聖地プロジェクトは、全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンチックなスポットを選定する事業として06年に開始し、地域の新たな魅力づくりと少子化対策

同協会幹事で、恋人の聖地事業を行うNPO地域活性化支援センターの志垣恭平理事長は昨年発足した同協会の趣旨を説明。

また、観光庁観光資源課の蔵持京治課長が「観光立国の推進に向けた政策について」と題して講演。「観光で国を開き、外国人の人々に日本文化や日本人の本質に触れてもらうことは重要だ。日本人自らも、その価値を再認識し、自らの文化や地域に誇りを持つことができる」と話した。日本版DMO確立の必要性や展望についても解説し